



歯科医院に通うのが嫌いなあなたへ…

笑気吸入鎮静法で 怖くない診療を…

保険診療で行える、安心の治療を提供しています。

特徴

- ①弱い鎮静・催眠作用と鎮痛作用
- ②鎮静効果の発現と消失が極めて速やか
- ③呼吸器や循環器にほとんど影響がない
- ④肝臓に負担をかけません。

メリット

笑気は鎮静作用に加えて鎮痛作用を持っています。そこで笑気吸入鎮静法を用いればリラックスすると共に痛みを感じにくくなります。笑気を吸入させながら吸入麻酔を行うと、「痛みをとるための麻酔が怖い」というジレンマが軽減されます。

安全性

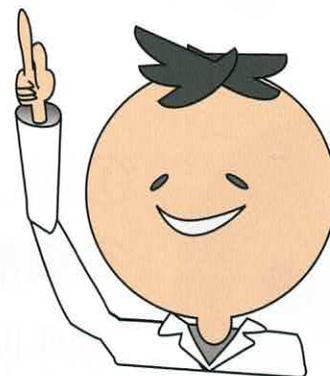
笑気が麻酔薬として広く用いられているのは、適度な鎮静作用と比較的強い鎮痛作用を持ち、効果の発現と消失が速やかで、重要臓器に影響を及ぼさないためです。

鎮静法はこれらの優れた特徴を持つ笑気を 30% 以下という低い濃度で、鼻呼吸により、高濃度の酸素とともに吸入させる極めて安全性の高い方法です。

適応性

- ①循環器疾患を有する患者様
- ②治療に強い恐怖心を有する患者様
- ③脳貧血の既往がある患者様
- ④嘔吐反射を有する患者様
- ⑤局所麻酔や外科処置予定している患者様
- ⑥理解力のあるお子様

基本的にはすべての患者様に適応可能ですが、中でも上記の患者様には積極的に用いることをお勧めします。



注意点

鎮静法は極めて安全性の高い方法なので禁忌となる諸例はありませんが、以下の患者様には注意が必要となります。

- ①中耳炎で治療中の患者様
- ②2か月以内に眼科手術を受けた患者様
- ③妊娠初期の患者様
- ④過呼吸発作の既往がある患者様
- ⑤鼻閉のある患者様
- ⑥本法を希望しない患者様

Q. 笑気吸入鎮静器は簡単、安全に使えるの？

A. 笑気吸入鎮静器は、酸素と笑気、二つのガスを混合して患者さんの鼻から吸入させる装置で、操作が簡単で、かつ安全に使用できるように設計されています。

あらかじめ総流量を設定しておけば混合比はつまみの操作一つで簡単に調節することができます。また、つまみの操作一つで混合比を変えることなく総流量を調節することもできます。

混合比はダイヤルの目盛で笑気濃度 0 ~ 70% の範囲で調節でき、設定した混合比を酸素と笑気の2つの流量計で確認することができます。安全装置として、万一、酸素ガスの供給が停止した場合でも笑気ガスの供給を自動的に停止するガス遮断安全装置や大量の酸素を瞬時に供給することができる酸素フラッシュ、流量不足の際に大気を吸入できる大気吸入弁、ガスの接続ミスを防ぐ専用規格のコネクタ等を装備し、安心して使用することができます。

血中笑気濃度変化

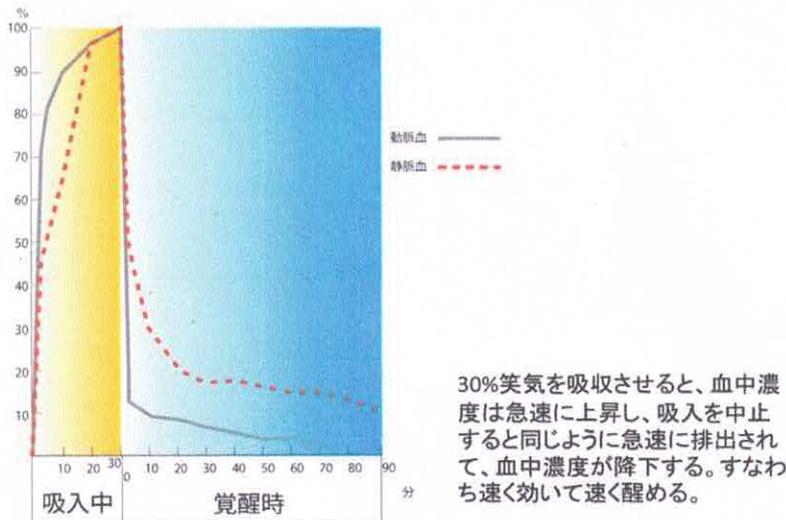


表1 至適鎮静状態

患者さんの感想	気分がよい ほろ酔い気分である 手足がジンジンする 身体がポカポカする
術者から見た様子	リラックスしている 瞬きが減少する 遠くを見るような眼差しになる バイタルサインは正常である